

様式第2号

視察研修先	千葉県松戸市	氏名	月光 裕晶
視察研修項目	子育て施策について（送迎保育ステーション、駅前・駅ナカへの小規模保育施設の整備）		
感想・所見など			
<p>とにかく親のことを考えた施策づくりをしていると感じた。</p> <p>待機児童ゼロとはいうが、それは単純に自治体全体で受け入れ可能な人数が、申し込み人数を上回っているだけの話であり、本来希望する施設には通えていない現実がある。やはり保護者は自宅の近くか、職場と自宅の間の立地を希望する傾向にあるので、どうしても申し込みが集中してしまう施設があるのは仕方ないことだと思う。</p> <p>しかし松戸市はその問題を駅近、駅中小規模保育施設と駅前送迎保育ステーションという形である程度解決した。多くの保護者が利用する駅前に各施設を整備し、そこに子供を預け仕事に行き、また帰りに駅前で子供を引き取る。一方で各幼稚園は園児を保育ステーションまで迎えに行き、そして時間になるとまたそこに送り届けることになっている。これでほとんどの親は仕事に行くために使う駅近辺で子供を預けられるという、とても合理的なシステムだと感じた。</p> <p>このシステムを車社会である寒河江で活用するには、比較的職場となることが多い、山形市、天童市、東根市などに通じるある程度大きい道路の側に大きめの駐車場を完備した施設が必要となってくる。今は使われていない空き店舗などを活用できれば可能ではないかと思う。</p>			

様式第2号

視察研修先	東京都昭島市	氏名	月光 裕晶
視察研修項目	アキシマエンス（昭島市教育福祉総合センター）について		
感想・所見など			
<p>昭島にある廃校を利用した建物も含まれる、大型複合施設を研修視察した。</p> <p>元の校舎棟には交流室や子育て広場、社会福祉事業団の事務所、こども発達支援室、男女共同参画センターや郷土資料展示室、その他多くの会議室などがある。体育館には可動式の客席が整備されており、体育館としても使えたり舞台やホールとしても使えるようになっている。そこに増築という形で、とても近代的な設備を備えた図書館が整備された。</p> <p>やはりここでも、利用者のことが最大限に考えられた作りになっているなど感じた。多目的トイレはすべての階にあり、子育て広場の隣には授乳室、親子トイレ、そしてベビーカー置き場が整備されていた。男女共同参画センターの中にも、子供を遊ばせるスペースがあり、保護者の交流の場にもなっているようであった。かなりきれいにリフォームされてはあるのだが、昇降口か教員用の玄関のようなところは全くリフォームされておらず、当時の面影を残し懐かしんでもらえるようにするという細かい工夫もあった。このことから校舎棟は交流をメインとし再利用されていると感じた。</p> <p>そして、図書館ではICT化がかなり進んでおり、図書の貸し出しをフェリカ完結できたり、返却された本の仕分けや書庫の管理も全てICTで管理されていた。この図書館も、静かにしていなければいけないという決まりがなかったり、ティーンズ学習室やグループ学習室といった部屋を決められたそれぞれのグループで利用したり、図書館の真ん中には交流広場があったりと、やはりこちらも交流をメインで考えられているように感じた。</p> <p>これから寒河江市も図書館を指定管理制度にしたりと変化が出てくると思うが、ぜひ市民の交流の場として活用できるように駐車場を広げるなどの整備していただきたいと感じた。</p>			

様式第2号

視察研修先	神奈川県大和市	氏名	月光 裕晶
視察研修項目	「おひとりさま支援条例」と高齢のひとり暮らしの方を支援する取組について		
<p>感想・所見など</p> <p>「おひとりさま支援条例」を制定している大和市に視察研修で伺った。</p> <p>条例制定の背景には、閉じこもり傾向や社会的孤立は健康なおひとりさまにも悪影響をもたらすことがわかっており、アンケート調査で大和市もその傾向が高いことが明らかになったため、外出や社会交流の促進に取り組むことで、おひとりさまに健康を保ってもらおうといった理念がある。</p> <p>条例上の基本的施策として4つの点が挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、おひとりさまに関する普及啓発 2、おひとりさま及びその家族への相談支援 3、外出及び社会交流の支援 4、情報の収集及び提供 <p>そのため、出前講座や窓口相談、支援として、おひとりさまサロンの開設、生活、お役立ちガイドの配布などを実施している。</p> <p>とても興味深い項目として、1人でも参加できるイベントアンケートでも上位に入るマージャン大会や、おひとりさまの居場所として公園に設置されている健康遊具などがあった。これらの項目は寒河江市でも実施可能なのではないかと感じた。</p> <p>年々高齢化が進んでいくが、健康寿命を伸ばして楽しい人生を送ってもらおうというとても素晴らしい施策であると感じた。</p>			

様式第2号

視察研修先	埼玉県富士見市	氏名	月光 裕晶
視察研修項目	フレイルチェック事業について		
感想・所見など			
<p>フレイル予防に力を入れている富士見市に視察研修でお伺いした。</p> <p>富士見市は健康長寿のカギはフレイル予防と考えており、その予防に重要な三本柱として、栄養、運動、社会参加の3つを挙げ、住民による住民のためのフレイル予防の確立を目指している。</p> <p>東京大学高齢社会総合研究機構が監修する(フレイルサポーター養成研修)を受講したフレイルサポーターが38名おり、フレイルチェック測定会を行っている。測定会の定員は20名で1回あたりの参加者は8名から20名、公民館、交流センター等での定期的な測定会以外に、町会や地域の体操クラブから測定の依頼があり対応をしている。</p> <p>予防の三本柱に基づき、フレイルチェック参加者向けにフォローアップ研修として栄養講座、ノルディックウォーキング講座を実施したり、運動と社会参加ができるふじみパワーアップ体操クラブを地域で展開している。フレイル状態が心配な方向けには、はつらつ教室フレイル予防コースを実施し、その中で個別栄養相談、歯科衛生士による口腔衛生指導、作業療法士による個別運動指導、保健師による健康相談等を実施している。その他にも、地域の高齢者サロン等の集まりで、管理栄養士が栄養講話を実施している。</p> <p>このフレイルチェックは、研修があつたりなどはするが、どの自治体でも取り入れることが可能であるため寒河江市でもぜひ前向きに検討いただきたい施策であると感じた。</p>			